

1. 授業の概要

(1) 目的

読書と図書館についての関心・識見を持ち、豊かな人間性を培い、よき読書人・よき図書館人となる。

(2) 内容

- 第 1 回 目的・方法（シラバス）の確認
課題作文「読書と豊かな人間性」
- 第 2 回 課題作文の紹介・講評
講義「人間生活と読書」
- 第 3 回 前回感想の紹介・講評
講義「情報社会と読書」「家庭と読書」
- 第 4 回 前回感想の紹介・講評
講義「学校と読書」
愛光学園図書館見学の事前指導
- 第 5 回 A 班・愛光学園図書館見学（感想文提出）
- 第 6 回 B 班・愛光学園図書館見学（感想文提出）
- 第 7 回 愛光学園図書館見学事後指導（感想文の紹介・講評）
「読書案内」作成について
- 第 8 回 講義「教科と読書」「総合学習と読書」
- 第 9 回 前回感想の紹介・講評
講義「読書指導における司書教諭の役割」
- 第 10 回 前回感想の紹介・講評
講義「図書委員会・学校行事と読書」
- 第 11 回 前回感想の紹介・講評
講義のまとめ。「読書案内」提出
- 第 12 回 図書館活動・読書指導例の紹介
ビデオ『図書館を生かす 学校は変わる』（山形県鶴岡市立朝陽第一小学校）
- 第 13 回 「読書案内」紹介・講評・返却
- 第 14 回 試験 課題作文「読書と豊かな人間性」
- 第 15 回 試験の講評・全体のまとめ

(3) 受講生 202名

(内訳) 2 回生

114名

学校教育 63名

障害児教育 21名

芸術文化 17名

生活健康 10名

情報文化 3名

3 回生 43名

4 回生 41名

大学院生 4名

2. 受講生の授業評価アンケートから

(1) 関心・興味（実人数）

5(84) 4(74) 3(9) 2(1)

(2) わかりやすさ

5(67) 4(96) 3(6)

(3) 教員の意欲・熱意

5(126) 4(38) 3(4)

(4) おすすめ度

5(89) 4(73) 3(7)

3. 受講生の記述から

(1) 愛光学園図書館見学について

- ・あのような素晴らしい学校図書館を見学できて大変ラッキーだと思いました。この授業を受講していてよかったです。
- ・「こういう図書館がいい！」と授業ですてから実際に目で見る事ができたので、良いところをたくさん見つけることができた。
- ・ただ良い図書館について説明されるだけでなく、実際に見せて頂き、図書館についての意識が高まりました。具体的にどうすれば生徒にとって役立つものとなるのか、参考になりました。
- ・図書館のイメージが変わりました。細部の工夫に注目すると、発見がいろいろあっておもしろかったです。
- ・ディスプレイや〇〇コーナーなど、司書の方の努力が見られて、司書教諭になったら、こんな図書館でこんな風な丁寧な仕事をしてみたいなあと思いました。
- ・とても良かった。是非来年も行っていきたいです。

(2) 「読書案内」作成について

- ・いざ作り始めてみると、とてもおもしろく、「こうすれば子ども達に見やすいかな?」「こうすればより興味を持ってくれるかな?」など、楽しみながら、また工夫しながら作ることができました。とても満足しています。
- ・何を書こう、どうしようと悩むことから始まりましたが、作っていくうちにおもしろくなっていきました。以前読んだ本をもう一度思い出したり、新しい本を読んだり、本にどっぷり浸かる時間が持てました。
- ・対象学年にどうやって本の面白さや良さを伝えようか、すごく悩みました。でも、メッセージとして文章にすることで自分の考えも整理でき、とても楽しめながら作成できました。
- ・楽しんで取り組めた。教師・司書教諭になったときのスキルにつながると思う。
- ・教師になる前の練習のような感じで、いい経験になった。
- ・作っている自分も楽しくなった。いろいろな人の作品も見れて勉強になった。将来とても役立つ。
- ・とても自由にのびのびと作ることができ、楽しかった。レポートやテストでの評価が多い中、このような評価の仕方があってありがたい。
- ・楽しかったです。もっとこだわりたいし、いろいろやってみたかったので、4月から課題を提示しておいていただくと、時間のある時期に取り組めたいと思います。現場への夢がふくらみました。

(3) 講義内容・その他

- ・授業についての見通しが持てて、分りやすかった。
- ・とても説明がわかりやすかったです。
- ・先生の話し方は分りやすく、授業に入りやすかったし、感想なども取り上げて話してくれたので他の人の考えなども知ることができて良かったです。
- ・時間がとられるとわかっていても、毎回、受講生が提出する感想を抜粋して、それに対してコメントを下さるのが嬉しかったです。
- ・配布資料もとても役立ったし、「読書案内」の去年の例をいくつか紹介してくれ

たので、作りやすかった。いつも丁寧にプリントやビデオの解説をしてくれたり、感想等にこたえてくれたのでよかったです。

- ・司書教諭や司書の仕事の内容を実践を通して知ることができて良かったです。先生の本が好き、図書館が好き、という気持ちがよく伝わってくる授業でした。
- ・講義全体を通して、学校図書館へのイメージが変わりました。自分が教師になった時どんな図書館を目指したいか、イメージが湧きました。
- ・この講義を受けて、図書館をよく利用するようになりました。
- ・図書館に行ってみよう!と思えた授業でよかったです。
- ・講義を受けてから、自分自身本を読んでもみようかなと思えるようになりました。また、子どもたちにもたくさん、楽しい本と一緒に読んでいきたいと思えるようになりました。
- ・これまで本にあまり興味が無かったが、この講義を受けてから本を読むようになった。読書量が増えてから、以前より深く考えられるようになったかもしれない。自分のこのような体験から、人に本の素晴らしさが伝えられたらと思う。
- ・この講義では、図書館について学んだのに、人生において得るべきものもたくさんあった気がします。
- ・人数が多いせいもありますが、やはり一方的に感じました。いただいた資料はとても興味深いものでした。
- ・講義中、後ろのほうでざわめきのあったことが、少し残念です。

4. 自己評価

2年目の授業なのに、昨年度より評価が落ちてしまったのが、痛恨事。昨年度
わかりやすさ 5(45)4(32)3(2)
おすすめ度 5(59)4(19)

昨年度の受講生は87名。今年は202名。受講生も記述していたように、多人数の講義にふさわしい教授方法、授業環境への配慮に欠けるところがあったようだ。

「本物の授業だった。心に響く授業だった。共通教育に位置づけてもいい、価値あるものだった」の評語に励まされて、来年度に臨みたい。